

ひろさき、このさき、
VISION BOOK
2050

このビジョンブックは
わたしたちの「まち」と「暮らし」のこれからを
自分たちの手で作る取組みの方向性を
まとめたものです

まちなかの使われていない
空間や建物を活用することで
ひろさきの毎日をもっと楽しく、豊かになるはず

さまざまなチャレンジを通じて
「ひろさきのこのさき」をアップデートし
解像度を高めていきます

行く先は、まちにある。

行きたいという好奇心と
居たいという居心地の良さを掛け合わせ
まちにわくわくを生みだす暮らしをつくる「ウォークابل」。
それぞれのやってみたいを持ち寄り
多様な人々とつながり
まちと日常の新しいこれからの紡ぎます。

好奇心



居心地の良さ

ひろさきは、江戸時代に城下町が誕生し、
津軽地域の政治・経済・文化の中心として栄えてきました。
以降、軍都として、また学都として、時代とともに、
何度もアップデートされてきたまちです。

現在では、商業、医療福祉、教育文化などの
多様なまちの機能とコミュニティが集まっています。

暮らす人、働く人、学ぶ人、訪れる人、挑戦する人が集うまち。

眠っているまちの資源と人々の想いを掛け合わせたら、
まちはもっと楽しくなる。

さあ、好奇心と、まちへ出よう。

目次

このさき1 ベースパート

- 04 あらまし
- 06 プロジェクトのスキーム
- 07 プロジェクトのプレイヤー／ロードマップ
- 03 アクションプラン—このさき、をつくるステップ
- 03 やりたいことを育てていく

このさき2 アクションパート

オープンスペースを活用した空間の価値づくり

- 12 コンセプト／HIROSAKI MACHI-PIC PROJECTとは？
- 13 これまでの歩みとこれから／3つの軸と実践
- 15 ひろさきウォークアブル推進会議

不動産ストックを活用した導線・沿線の価値づくり

coming soon...

ベースパート

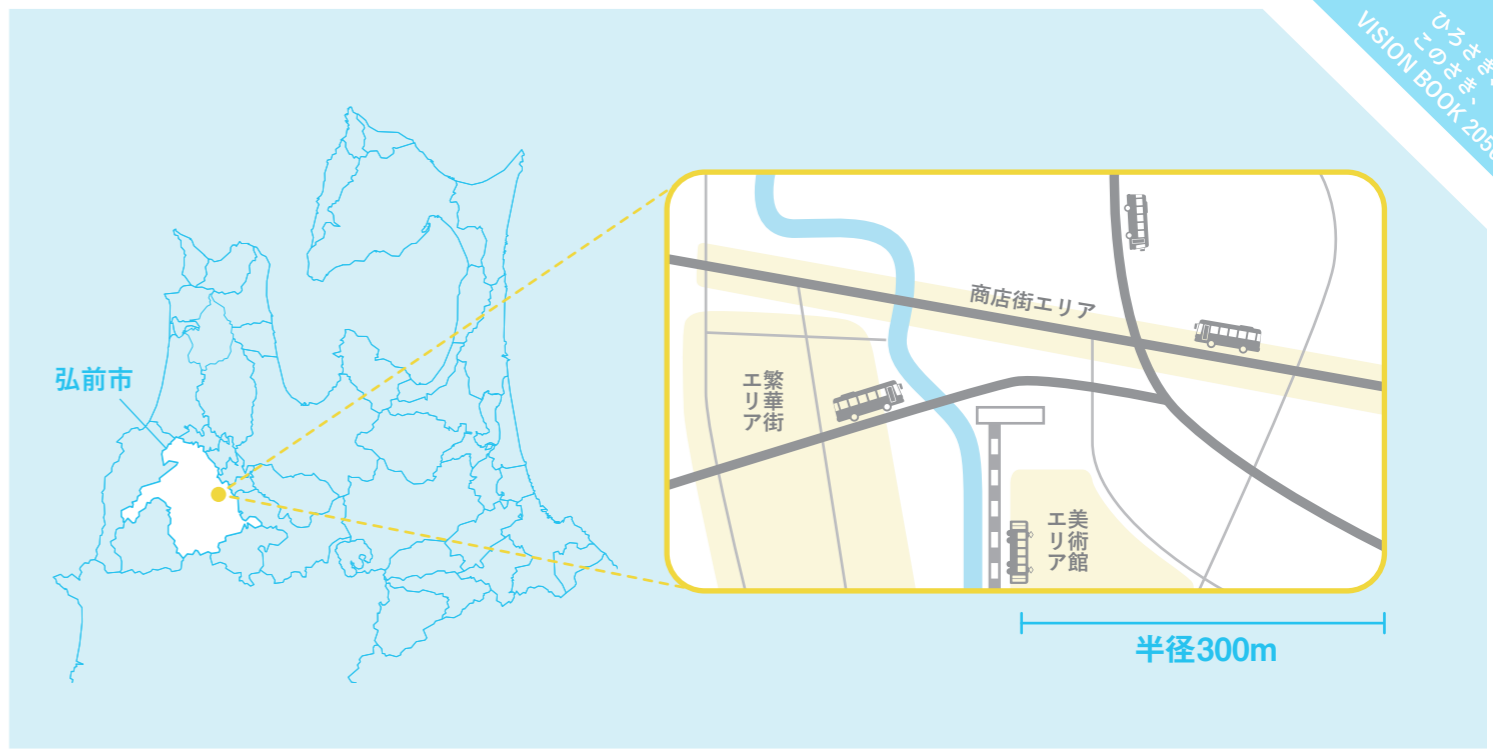
あらまし

目的 今と未来のあいだをつくる

ひろさきは、まちなかに様々な機能やコミュニティが集まっている、コンパクトな地域です。いま、さまざまな場所で、まちが楽しくなる変化が起こっています。「居心地が良く歩きたくなる」ウォークラブルなまちづくりを目指して、民間と行政が手を取り合い日常を豊かにする取組みを、考え、実践しながら、このさきのひろさきをつくっていきます。

文化交流エリア周辺地域 このさきのイメージ

まちなかには、使われていない資源とまだ気づいていない価値がたくさんあるはず。弘前れんが倉庫美術館や土淵川などの「官」の資源や、鍛冶町や弘南鉄道などの「民」の資源を活用して、自由な発想と使い方さまざまな楽しさが生まれる場所をまちに増やしていきます。

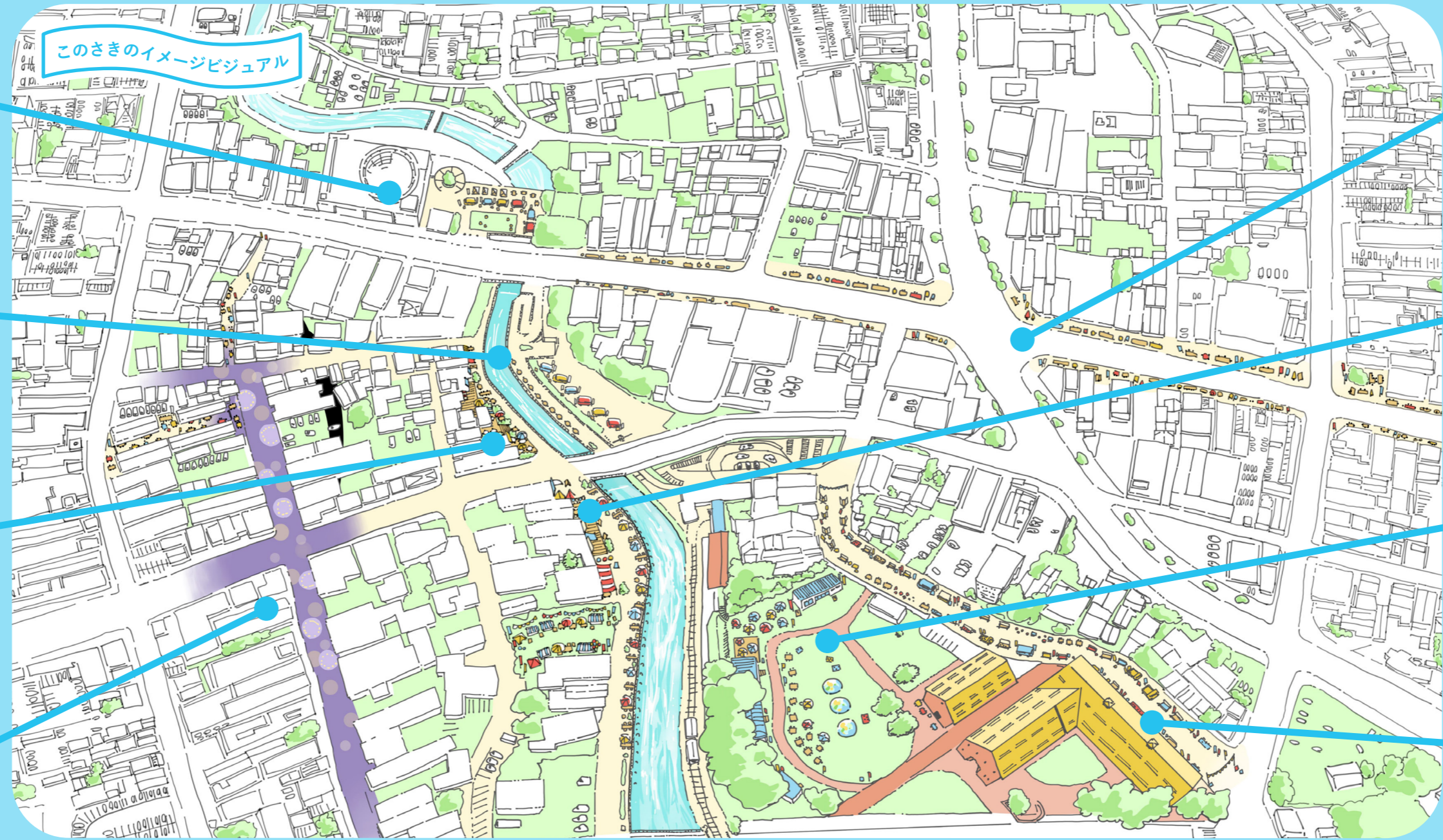


蓬萊広場
自由な使い方ができるオープンスペース

土淵川遊歩道テラス
エリアをつなぐ歩きやすい道

にぎわい店舗群
まちにひらけたお店が並ぶ

鍛冶町通り
一人でも出歩ける車と人の共存



土手町通り
歩行空間が広い道路

土淵川リバーフロント
吉野町緑地からも見える水辺空間

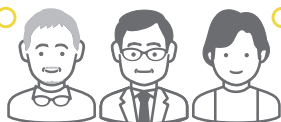
吉野町緑地
空がひらける緑のエアスポット

うら道
知る人ぞ知る便利な小道

軸・将来像

エリアビジョン

— エリアデザイン会議 —



オープンスペースを活用した
空間の価値づくり

不動産ストックを活用した
導線・沿道の価値づくり

エリアへのビジネス展開

実現の手法

エリア価値の 向上

ウォーカブル

熱量の高い市民の
活動

官民協働型

ビジネススペースでの
事業

民間主導型

エリアでのマーケティング試行

！
まちの雰囲気
ちよつとずつ変わる

将来像の実現

わくわくする
まちなか

！
まちの雰囲気
ちよつとずつ変わる

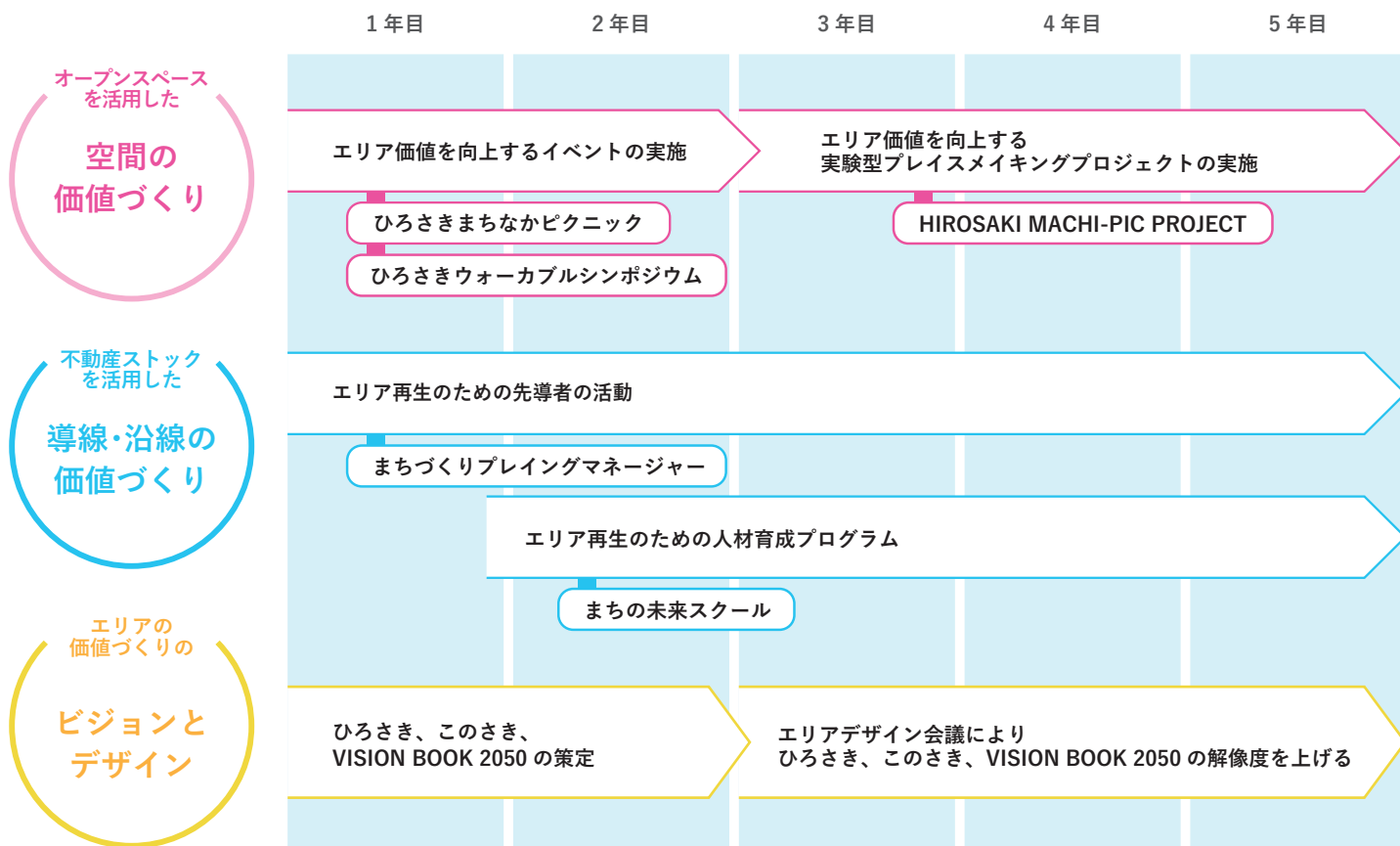
プロジェクトのプレイヤー

まちに関わる人、すべてが主人公。

これまでの垣根を越えて、まちの未来を民間も行政も一緒になってつくっていきます。



ロードマップ



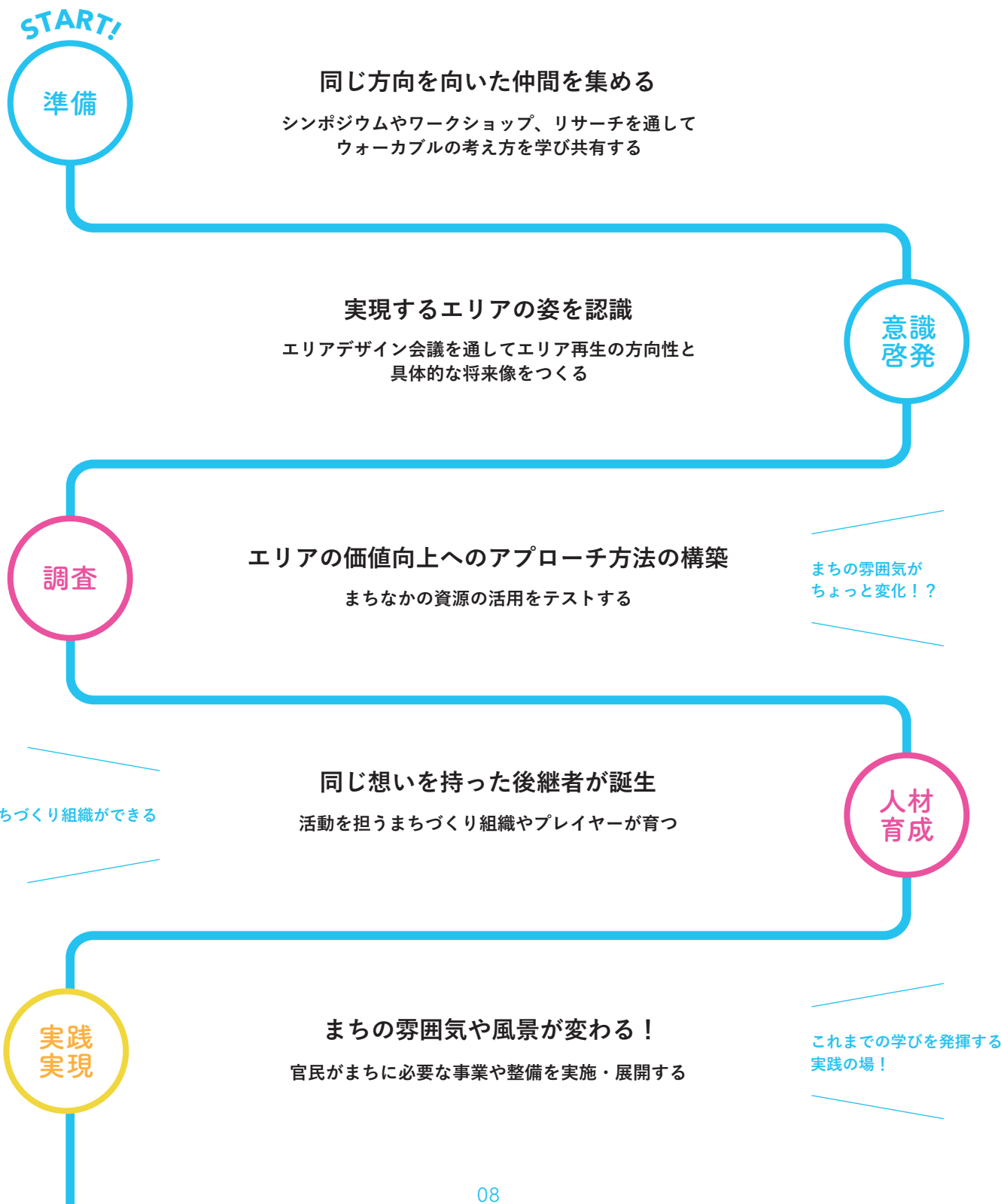
アクションプラン

このさき、をつくるステップ

これまでのまちづくりでは、設定されたビジョンに基づいて、チームや団体が「まちづくりのため」の役割を担いながらゴールに向かっていくことが一般的でした。

今回の取組みは「自分がやりたいこと中心モデル」。

主役であるプレイヤーが、ビジョンに賛同する仲間を集め、小さな実残を繰り返しながら、大きな「やりたい」を実現していく。あなたの得意が、まちのわくわくをつくります。



こんなまちにしたい!



**チャレンジの舞台
人々の架け橋**

まちに関するコミュニティをつくり、「やりたい」を応援する。あたらしい挑戦ができるエリアを目指します。



**ふらっと立ち寄る
ふと、一息つきたくなる**

生活の中に溶け込んで、暮らしの中にある。まちの宿り木のようなエリアを目指します。



**好奇心の連鎖が
感性をアップデートする**

いろんな「やりたい」がたちとなり、連鎖していく。いいね、に出会えるエリアを目指します。

**多様な人々が
思い思いに過ごし
自分らしく活動できる**

活動する人も参加する人も、思いのままに楽しむ。多様な文化と人が交差するエリアを目指します。



**まちの資源を活かし
あたらしい魅力を生む**

まちの建物や空間などのポテンシャルを引き出し活用するエリアを目指します。

アクションパート

オープンスペースを活用した 空間の価値づくり

コンセプト

まちなか空間の楽しい使い方 ～わたしたちの場所をつくる～

まちなかでキャンプをしたい、結婚パーティーをやってみたい！など、まちを舞台にやりたいことのある人たちが集まって、さまざまな活動に挑戦するための枠組みとして「HIROSAKI MACHI-PIC PROJECT」を立ち上げました。

目指すまちは…

好奇心を刺激する

居心地がいい

わくわく暮らせる

仲間に出会える

HIROSAKI MACHI-PIC PROJECTとは？

HIROSAKI MACHI-PIC PROJECTは、2020年から実施してきた社会実験イベント「ひろさきまちなかピクニック」から生まれました。ウォークアブルシティを目指して、多様なプレイヤーとの協働により、文化交流エリア周辺地域を舞台に「居心地が良い空間づくり」を提案する実験型プレイスメイキングプロジェクトです。



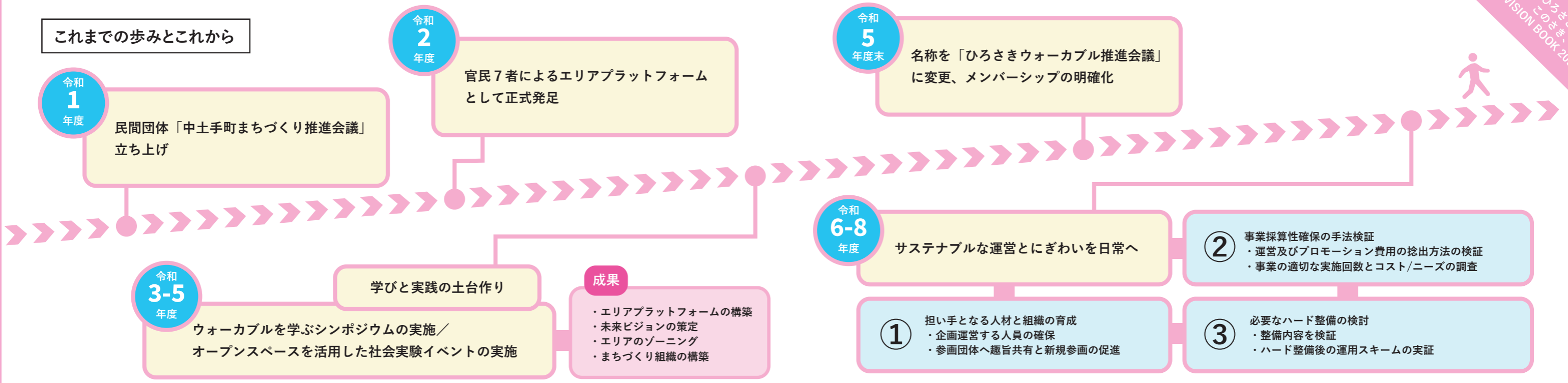
Facebook



Instagram



これまでの歩みとこれから



3つの軸と実践

1 イベントから日常へ
居心地の良さと好奇心を
日々の暮らしの中に



Machi-pic Market (まちピクマーケット)
オープンスペースを活用したマルシェの定期開催を試行します。自走運営をすることを目標に実施スキームの構築と効果的なファニチャーの検討・検証をします。

Machi-pic Challenge (まちピクチャレンジ)
年間を通じて、オープンスペースを活用したアクティビティや文化活動などを増やしていくための後押しをします。制限緩和を促進し、多様な活動の担い手の発掘とオープンスペースの活

用の幅を広げることを目的とした効果検証を行います。
ファニチャーの常設に向けた運用・管理の実証&道路空間の活用検討
社会実験を経て、どのようなファニチャーが効果的であるかがわかってきました。イベント時のみ用意していたファニチャーを、定期・常設の設置ができるように運営管理体制を構築し、将来的なハード整備も見据えた可能性の検証を行います。

2 持続可能な取組みへ
仲間を集め、想いを共有し
コミュニティを次世代へ繋ぐ



Machi-pic Crew Team Lab (まちピククルーチームラボ)
ビジョンに共感し、自分たちの暮らしづくりに参加するボランティアスタッフ「クルーチーム」を一般公募・登録制で創設します。人材を育成する講演会や勉強会を経て、イベントの運営や情報発信・プロモーションを担います。将来的にクルーチームからの取組みの発意・実践などを検討・実現する場をつくり、クルーチーム内にサークルやコミュニティ等ができていくことを目指します。

Machi-pic Contents Proposal (まちピクコンテンツプロポーザル)
Machi-pic MarketやMachi-pic Challengeで「ウォーカブルビジョンに賛同し、自分がやりたいことを主体的に実現するためのサポートが欲しい」という仲間を募集します。集まっ

た仲間は、ひろさきウォーカブル推進会議のメンバーとなり、やりたいことの実現を目指します。メンバー募集は、随時受け付けます。

まちづくり組織の強化
まちなかピクニックの各エリアリーダーを担った有志の集まりにより、エリアプラットフォームの運営を担う任意団体を設立しました。令和6年には法人格を得て、活動の幅を広げ取組みの核を担う予定です。将来的には、このまちづくり組織が官民所有のオープンスペースの活用について中間支援を担うとともに、エリアプラットフォームの活動の収支性などを検証し、事業費及び事業効果の適正化と効率化を図り、都市再生推進法人の指定を目指します。

3 暮らしの中の文化へ
1年に1度の集合型
イベントとして定着する

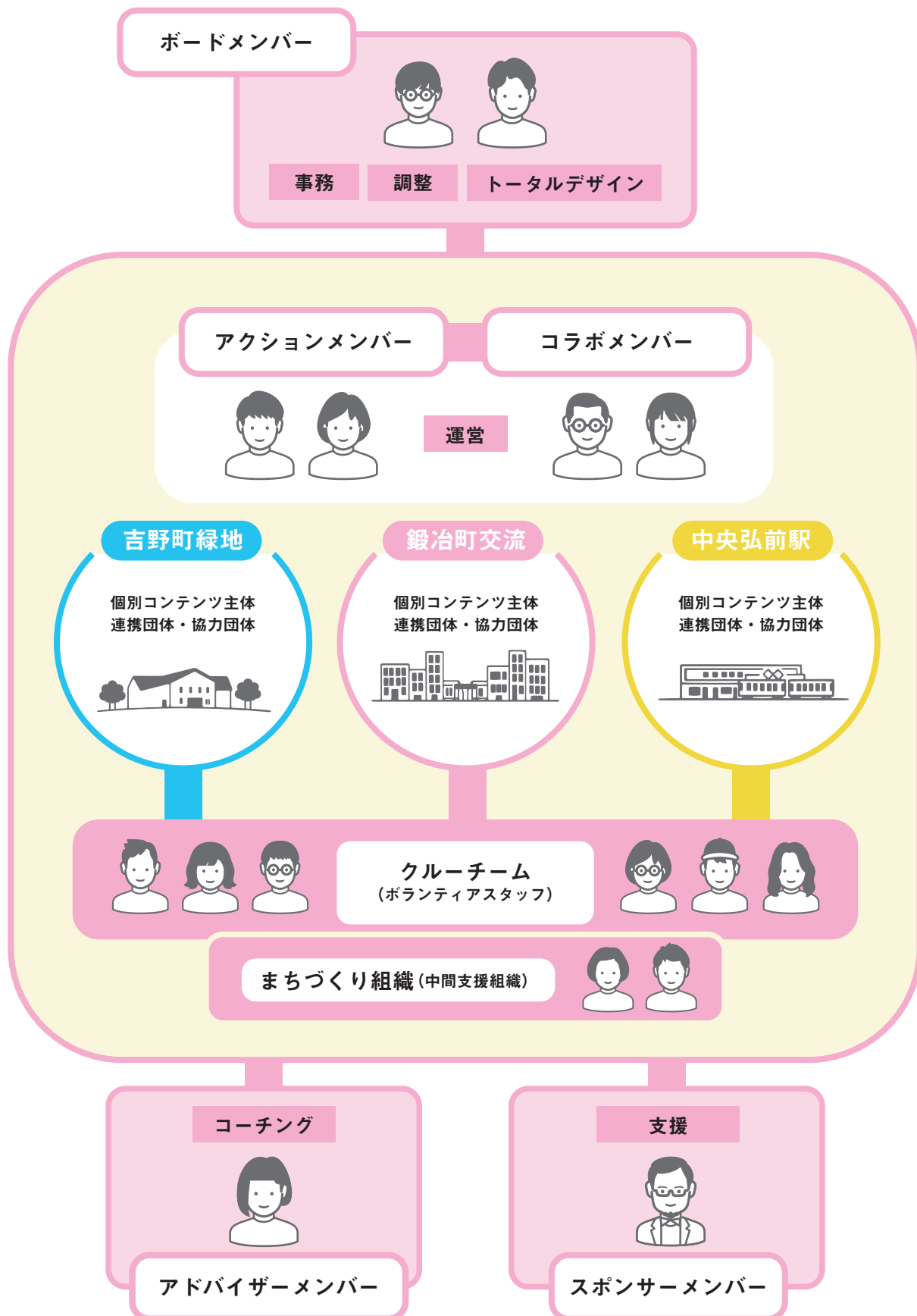


プレピクニック
エリアプラットフォームの新規参画者や、令和6年から活動する予定のまちピククルーなど、運営関係者でウォーカブルを味わい、ファニチャーなどの設置テストを行います。

ひろさきまちなかピクニック & Machi-pic Talk LIVE(まちピクトークライブ)
オープンスペースを活用したMachi-pic marketやMachi-pic challengeの主体が一堂に会したイベントとして年に一回実施します。皆が主体的に各自の取組みを実践する場です。また、取組みへの理解を深め仲間を集めるためのトークセッションなども実施します。

ひろさきウォークブル推進会議

それぞれの「やりたいこと」にチャレンジするプレイヤーが、ゆるやかにつながるエリアプラットフォームです。いずれかの「種類」のメンバーとして所属し、ビジョンを共有した上で、自分たちが率先して活動することに加え、活動したいひとの「やりたい」という想いと、活動する場となる空間のマッチングを担います。



2023.3
2024.3

ひろさき、このさき、VISION BOOK 2050

【発行】

ひろさきウォークابل推進会議
(文化交流エリア周辺地域エリアプラットフォーム)
hirosaki.nms@gmail.com